



日本高等教育学会第 21 回大会  
プログラム

2018 年 6 月 2 日(土)~3 日(日)

桜美林大学

The 21st. Annual Meeting

**JAHER**

Japanese Association of Higher Education Research

日本高等教育学会

## ごあいさつ

日本高等教育学会会員の皆さん、ようこそ桜美林大学へ。大会実行委員会一同、皆様のご参加を心より歓迎申し上げます。

本学は1950年に短期大学、1966年に大学を開学し、その後の発展によって、現在では大学院および5つの学群を持ち、学生数1万人を擁する大きな大学となりました。また、桜美林学園としては、1921年中国北京市での崇貞学園の設置から数えて、2021年に創立100周年を迎えます。さらにご存じの通り、本学には大学院大学アドミニストレーション研究科という全国的にきわめて特色ある修士課程プログラムがあり、2001年の創設以来、500名に迫る修了生を送り出し、それぞれ各地の大学で大学アドミニストレータとして活躍しているところです。

本学での学会大会の引き受けは、2000年5月の第3回大会以来のこととなります。この間、高等教育を巡る環境は、グローバル化、知識基盤社会化の進行や18歳人口の減少、政府の行財政改革などを引き金に起きた大学改革の進展によって大きく変化を遂げてきました。我々学会員の行う研究活動も、かつてならば理想を追うだけで良かったものが、今では現実の課題に取り組み、その解決策の探究が期待されるなど、大いに影響を受けているところです。その中で、学会員の皆さんは高等教育を巡る世の中の現実を受け身で対応するのではなく、アカデミックであれ実務的であれ、その現実の中に研究課題を見出し、積極的に世の中に研究成果を発信していくという態度がますます求められているのではないのでしょうか。

今回の大会では、公開シンポジウムおよび二つの課題研究に加え、18の部会に分けられた多くの自由研究成果が二日間にわたって発表されます。発表者の皆さんには日頃からの研究成果を十二分に発表され、参加者の皆さんとともに、大いに議論を深めていただきたいと思います。実行委員のメンバーには本学在勤の学会員だけではなく、修了生の有志の方々にもお願いいたしました。しかし何分にも、前回の大会引き受け時から18年も経っておりまして、何かと至らないところもあろうかと存じます。どうか我々実行委員の熱意に免じてご寛容ください。皆さんにとって意義ある大会になるよう励みますので、よろしくお願いいたします。

日本高等教育学会 第21回大会実行委員会  
委員長 山本 眞一

# 大会日程

## 6月1日(金)

16:00 ~ 18:00 理事会 (崇貞館6F会議室H)

## 6月2日(土)

9:15 ~ 受付 (明々館エントランスロビー)

10:00 ~ 12:00 自由研究発表 I

12:00 ~ 12:50 課題研究 I 打ち合わせ (明々館A304)

12:00 ~ 12:50 課題研究 II 打ち合わせ (明々館A305)

12:00 ~ 12:50 編集委員会打ち合わせ (明々館A306)

12:00 ~ 12:50 留学生とのランチミーティング (明々館A709)

13:00 ~ 15:00 自由研究発表 II

15:15 ~ 17:45 課題研究

課題研究 I

「多様な研究アプローチからみた高等教育研究」 (太平館A200)

課題研究 II

「高等教育と地域社会—相関的な政策と研究との間—」 (太平館A201)

18:00 ~ 20:00 懇親会 (崇貞館1F桜カフェ)

## 6月3日(日)

9:15 ~ 受付 (明々館エントランスロビー)

10:00 ~ 12:00 自由研究発表 III

12:00 ~ 12:50 総会打ち合わせ (明々館A304)

12:00 ~ 12:50 公開シンポジウム打ち合わせ (明々館A305)

13:00 ~ 13:30 総会 (太平館A200)

13:45 ~ 16:45 公開シンポジウム (太平館A200)

「大学経営人材のプロフェッショナル化をどう進めるか

—SD・教職協働の制度化を踏まえて—

# 大会参加のご案内

- ウェブサイト** 最新情報は <http://www.jaher2lobirin.com/> で提供しております。
- 参加費** 大会参加費 6,000 円（事前お支払いの方は 5,000 円）  
懇親会費 5,000 円（事前お支払いの方は 4,500 円）  
\*会員でない方も臨時会員として、上記と同じ金額で参加できます。  
\*\*懇親会満席の際は当日申し込みを受け付けられないことがあります。  
\*\*\*シンポジウムは無料で一般に公開します。
- 学会年会費** 大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。
- 入場** 会場及び懇親会会場への入場は、必ずネームプレートをつけて下さい。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートはお帰りの際に受付にお返しください。
- 呼び出し** 会場での呼び出しは行いませんのでご了承ください。
- 緊急連絡先** 発表者が欠席する場合など、緊急の場合は、わかり次第、できるだけ早く大会実行委員会にE-mailにてお知らせください（大会実行委員会E-mail:jaher21@obirin.ac.jp）。
- 資料のコピー** 大会実行委員会によるコピーサービスは行いません。自由研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意ください。
- 会員控室** 明々館1階エントランスロビーを予定しております。書籍等の展示・販売も同じくロビーで行います。なお、大会期間中はロビー脇のA104が大会本部となります。
- クローク** 2日（土）は18:00まで、3日（日）は16:45まで、明々館A105で荷物をお預かりいたします。貴重品はご自身で管理いただくようお願いいたします。
- 昼食** 大会期間中の昼食時間帯（11:30～13:30）は、大学内の食堂（崇貞館1F桜カフェ）をご利用いただけます。
- 懇親会** 2日（土）18:00～20:00に桜カフェにて行います。是非ご参加下さい。
- 喫煙場所** 学内は全面禁煙となっております。

## 発表者へのお願い

### ●発表および質疑応答時間

発表人数	発表時間	質疑応答時間
1 人	15 分	5 分
2 人	30 分	10 分
3 人以上	40 分	10 分

\*全ての発表について、以下の要領で時間の目安をお知らせします。

【1鈴】発表終了5分前

【2鈴】発表終了時

【3鈴】質疑応答終了時

### ●発表用機械器具

大会会場にはプロジェクタ及び Windows PC が備え付けてありますので、発表される方はこれをご利用下さい。Microsoft Office(.ppt .pptx .doc .docx)及び PDF (.pdf)であれば、基本的に対応可能ですので、発表ファイルを入れた USB メモリ（検疫済みのもの）等をご用意ください。やむを得ずご自身の PC を利用される場合には、発表部会開始前に動作確認をしてください。持込み PC と会場備付けプロジェクタとの接続には、アナログ RGB(D-Sub15 ピン)及び HDMI(TypeA コネクタ)をご利用いただけますが、動作保証はできませんので、ご了承ください。

## 司会者へのお願い

### ●発表および質疑応答時間

予定時間を超過しないように時間管理をお願いします。

### ●総括討論

各セッションの最後に総括討論の時間を設けておりますが、利用できる時間はそれぞれの部会によって異なります。この時間の活用方法は司会者に一任しておりますので、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

### ●緊急連絡先

発表者、司会者ともに、緊急の連絡をしなければならない場合には、以下をお願いします。  
大会実行委員会 E-mail:jaher21@obirin.ac.jp

## 会場へのアクセス

桜美林大学町田キャンパスへは JR 横浜線淵野辺駅北口からスクールバスをご利用下さい(無料、約 8 分)。学内には駐車スペースはありませんので、車での参加はご遠慮下さい(<https://www.obirin.ac.jp/access/>)。

淵野辺駅・桜美林学園間のスクールバス時刻表は下記の通りです。下記以外に、京王・小田急多摩センター駅からのスクールバスも運行しております(無料、約 20 分、6月2日のみ)。多摩センター駅・桜美林学園間のスクールバス時刻表につきましては大会ホームページをご覧ください。

### 6月2日(土) 淵野辺駅北口→桜美林学園

8時台～17時台は約10分間隔で運行

### 6月3日(日) 淵野辺駅北口→桜美林学園

9時	06	13	23	33	43	53
10時	03	23	43			
11時	03	23	43			
12時	23	33	43			
13時	03	13	23	33		

### 桜美林学園→淵野辺駅北口

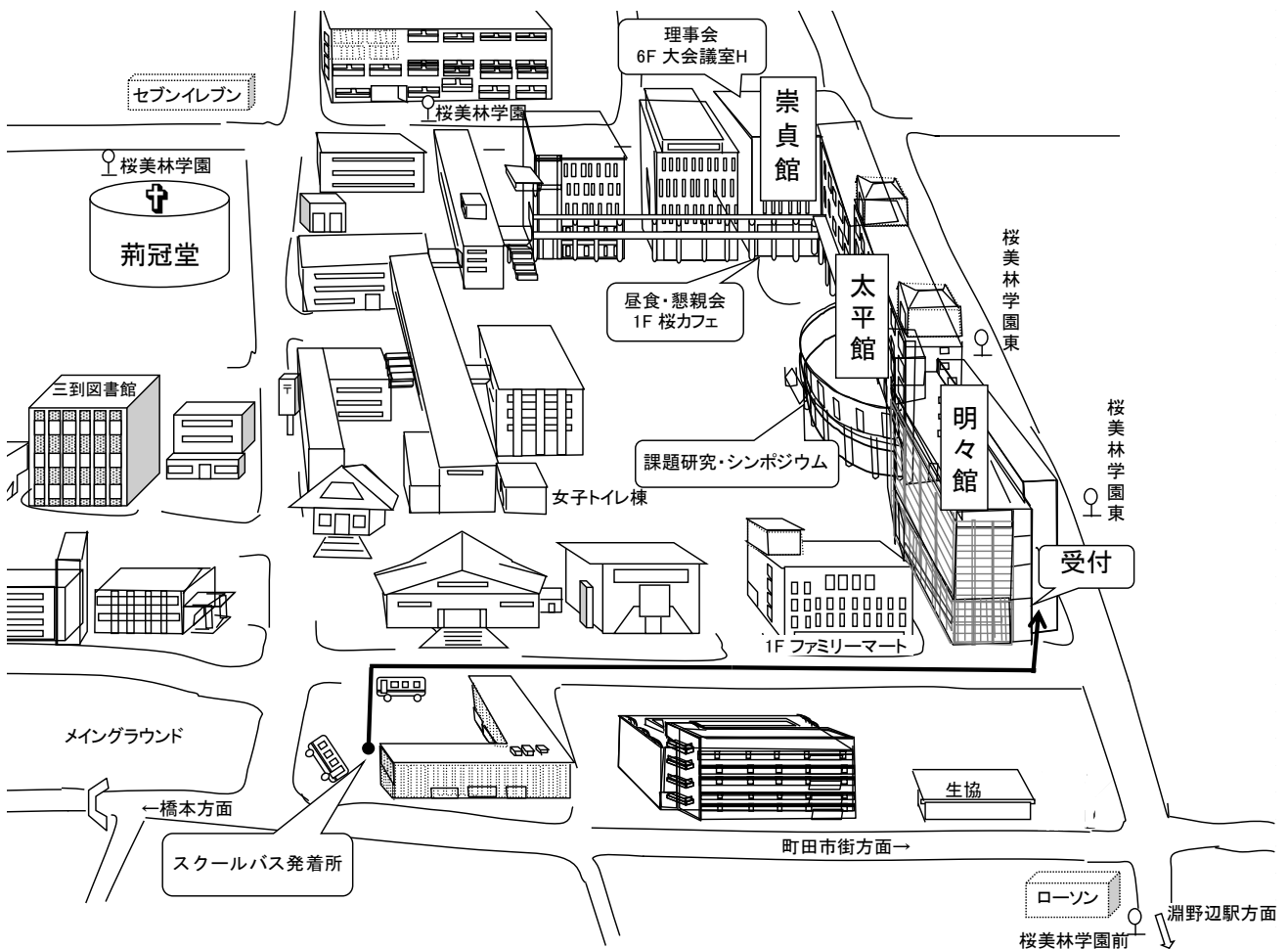
9時台～17時台は約10分間隔で運行。以降は18:05、18:15、18:28、18:30、18:35、20:00、20:20、20:40、21:00 発

### 桜美林学園→淵野辺駅北口

11時	10	20	30
12時	10	20	30 50
13時	00	10	20
16時	55		
17時	05	15	25

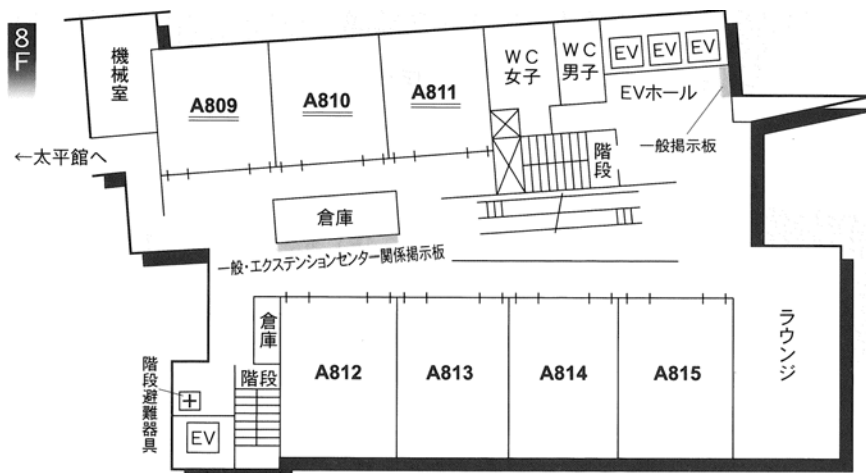
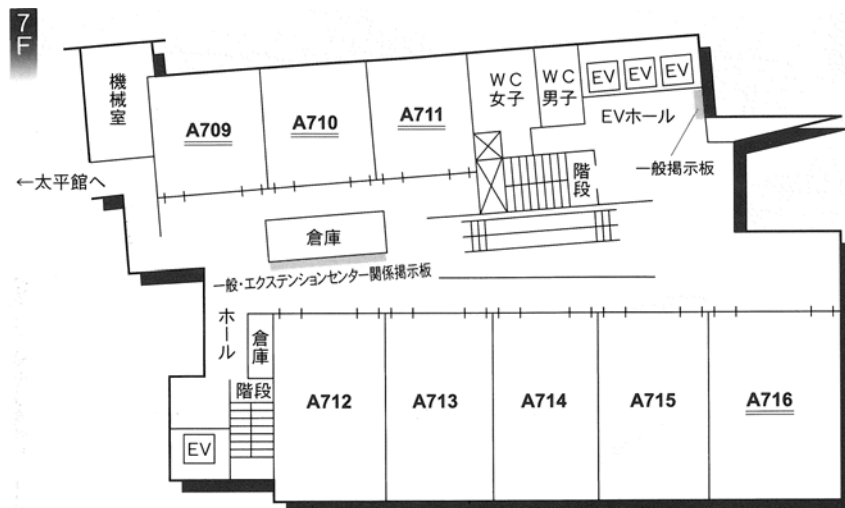
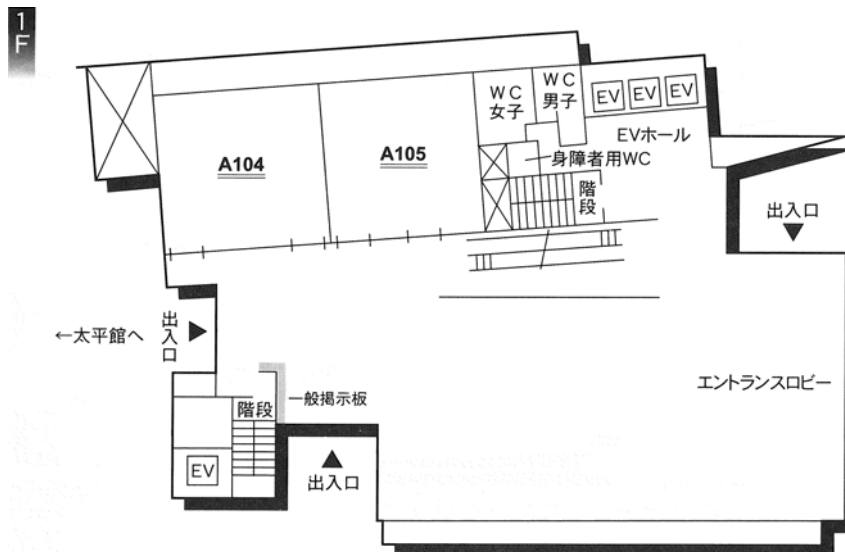
JR 横浜線淵野辺駅北口からは、路線バス(神奈川中央交通)もご利用いただけます。1 番乗り場から小山田桜台行(淵 30)・神奈中多摩車庫行(淵 65)・日大三高行(淵 67)・町田バスセンター行(淵 29)に乗車の上、「桜美林学園前」で下車して下さい(<https://www.kanachu.co.jp/dia/noriba/>)。

## 会場案内 (桜美林大学キャンパスマップ)

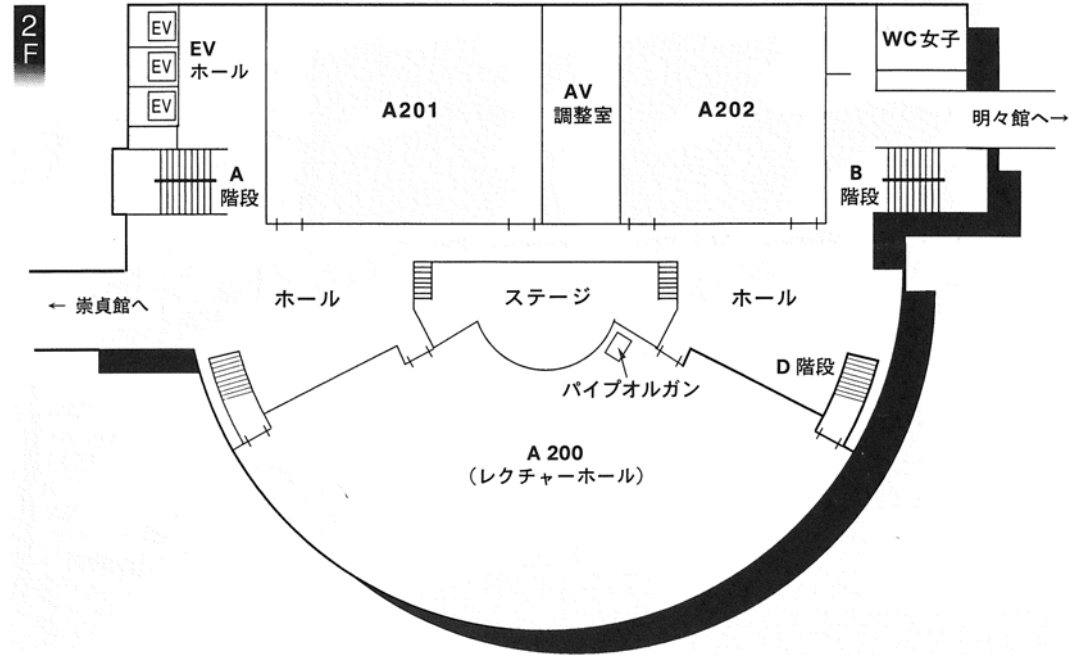


# 大会会場案内図

明々館 (受付・自由研究発表)



太平館 (課題研究・シンポジウム)





# 大会会場一覧

6月2日（土）9:15～

受付：明々館エントランスロビー

\*A200・A201は太平館、A700番台以上は明々館。

10:00～12:00

自由研究発表Ⅰ

A712	I-1	部会	大学の理念
A713	I-2	部会	大学職員と人材養成
A714	I-3	部会	大学の組織・経営（1）
A715	I-4	部会	大学の教育（1）
A812	I-5	部会	大学の国際化
A813	I-6	部会	教養教育

13:00～15:00

自由研究発表Ⅱ

A712	II-1	部会	奨学金と学費
A713	II-2	部会	大学の教育（2）
A714	II-3	部会	大学の組織・経営（2）
A715	II-4	部会	大学進学・進路選択
A812	II-5	部会	大学と研究
A813	II-6	部会	アジアの高等教育

15:15～17:45

課題研究

A200	課題研究Ⅰ	多様な研究アプローチからみた高等教育研究
A201	課題研究Ⅱ	高等教育と地域社会 — 相関的な政策と研究の間 —

18:00～20:00

崇貞館 1F 桜カフェ 懇親会

6月3日（日）9:15～

受付：明々館エントランスロビー

10:00～12:00

自由研究発表Ⅲ

A712	III-1	部会	アメリカの高等教育
A713	III-2	部会	大学評価と質保証
A714	III-3	部会	大学の教育（3）
A715	III-4	部会	医療系専門職教育
A812	III-5	部会	地域と大学
A813	III-6	部会	大学と学術

13:00～13:30

A200 総会

13:45～16:45

A200 公開シンポジウム  
大学経営人材のプロフェッショナル化をどう進めるか  
—SD・教職協働の制度化を踏まえて—

I-1 部会 A712 教室

## 大学の理念

司会：塚原 修一（関西国際大学）

- 10:00~10:20 戦後日本における非大学系高等教育機関としての神学校の研究  
○齋藤 崇徳（大学改革支援・学位授与機構）
- 10:20~10:40 東京大学草創期における University Extension の端緒  
○菅原 慶子（東京大学）
- 10:40~11:00 大学の学部名称に使用されるキーワードの変遷  
—出現頻度の増減に着目して—  
○寺田 悠希（放送大学大学院）
- 11:00~11:20 アメリカにおける学問の自由をめぐる危機  
—Institutional Academic Freedom という概念—  
○羽田 貴史（東北大学）
- 11:20~11:40 日本の大学の自治と大学改革  
—日本から大学がなくなる日—  
○磯田 文雄（名古屋大学）
- 11:40~12:00 総括討論

---

I-2 部会 A713 教室

## 大学職員と人材育成

司会：小方 直幸（東京大学）

- 10:00~10:20 日本の大学における「創造的業務」は、どのような職員により行われているのか？  
○木村 弘志（一橋大学）
- 10:20~11:00 第三の領域における教職員  
—そのキャリアと働き方—  
○二宮 祐（群馬大学） ○浜島 幸司（同志社大学）  
小島佐恵子（玉川大学）
- 11:00~11:40 日本の IR 組織における「3つの知性」の実態と課題  
○橋本 智也（四天王寺大学） ○小湊 卓夫（九州大学）  
白石 哲也（清泉女子大学） 畠田 敏行（茨城大学）
- 11:40~12:00 総括討論

## 大学の組織・経営(1)

司会: 水田 健輔 (大正大学)

- 10:00~10:20 **国立大学法人の第二期中期目標期間評価の検証**  
○林 隆之 (大学改革支援・学位授与機構) 渋井 進 (大学改革支援・学位授与機構)  
蝶 慎一 (大学改革支援・学位授与機構) 土屋 俊 (大学改革支援・学位授与機構)
- 10:20~10:40 **フランスにおける大学連携・統合**  
—成功と失敗の要因—  
○大場 淳 (広島大学)
- 10:40~11:30 **高等教育組織の行動選択とパフォーマンス**  
—『大学四季報』データの活用を中心に—  
○松宮 慎治 (神戸学院大学) ○中尾 走 (広島大学大学院)  
○村澤 昌崇 (広島大学)
- 11:30~12:00 **総括討論**

## 大学の教育(1)

司会: 濱中 義隆 (国立教育政策研究所)

- 10:00~10:20 **ディプロマ・ポリシーに見る大学通信教育の現状と課題**  
—通学制との比較から—  
○石原 朗子 (星槎大学大学院) 小暮 克哉 (岩手大学)  
鈴木 克夫 (桜美林大学)
- 10:20~10:40 **学修成果目標設定に差異が生じる要因に関する検討**  
—法学部教育に着目して—  
○坂巻 文彩 (九州大学大学院)
- 10:40~11:00 **到達確認試験による学修成果の可視化と課題**  
○藤木 清 (関西国際大学) 濱名 篤 (関西国際大学)  
坂中 尚哉 (関西国際大学)
- 11:00~11:20 **職業能力形成における大学教育の効果**  
—卒業時調査からの知見—  
○劉 文君 (東洋大学)
- 11:20~12:00 **総括討論**

I-5部会 A812 教室

## 大学の国際化

司会：米澤 彰純（東北大学）

- 10:00~10:20 **会津大学の海外学生獲得戦略と今後の課題について**  
○阿部 泰裕（会津大学） 山内 和昭（会津大学）
- 10:20~10:40 **地方私立大学における留学生誘致状況とコストの分担**  
—韓国と日本の比較から—  
○佐藤 由利子（東京工業大学）
- 10:40~11:00 **英語学位プログラムを通じた大学国際化に関する分析枠組みの検討**  
—日本の国立大学学部プログラムに関するケーススタディーをもとに—  
○小竹 雅子（島根大学）
- 11:00~12:00 **総括討論**

---

I-6部会 A813 教室

## 教養教育

司会：山田 礼子（同志社大学）

- 10:00~10:40 **近年の日本の大学における教養教育改革の動向**  
—学士課程カリキュラムの構築をめぐる組織的課題—  
○杉谷祐美子（青山学院大学） ○姉川 恭子（早稲田大学）  
吉田 文（早稲田大学） 杉本 和弘（東北大学）  
満都拉（中央民族大学）
- 10:40~11:30 **教養教育のグローバル展開**  
—オーストラリアと中国の事例—  
○吉田 文（早稲田大学） ○杉本 和弘（東北大学）  
○満都拉（中央民族大学） 杉谷祐美子（青山学院大学）  
姉川 恭子（早稲田大学）
- 11:30~12:00 **総括討論**

## 奨学金と学費

司会：丸山 文裕 (広島大学)

- 13:00~13:20 **大学授業料引き上げのシミュレーション**  
—中国14国公立大学の学生調査から—  
○王 傑 (東京大学)
- 13:20~13:40 **韓国の大学納付金の負担緩和と政策の法制化と変容過程に関する研究**  
—政策の利害関係者との間の権力関係を中心に—  
○宋 善英 (韓国大学教育協議会) 梁 鎬錫 (駐大阪大韓民国総領事館)
- 13:40~14:00 **大学からみた授業料・奨学金制度・「無償化」 枠組み**  
○白川 優治 (千葉大学)
- 14:00~14:20 **高等教育における奨学金制度設計を巡る法的枠組と独自奨学金**  
○川村 真理 (東京大学)
- 14:20~14:40 **奨学金における情報ギャップの現実**  
—全国高校調査から—  
○小林 雅之 (東京大学) 濱中 義隆 (国立教育政策研究所)  
王 傑 (東京大学)
- 14:40~15:00 **総括討論**

## 大学の教育(2)

司会：中島 英博 (名古屋大学)

- 13:00~13:20 **大学教育におけるカリキュラムマネジメントに関する基礎的研究**  
—国立大学におけるディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを中心に—  
○林 透 (山口大学) 山崎 慎一 (桜美林大学)  
深野 政之 (大阪府立大学) 斎藤 有吾 (京都大学)
- 13:20~13:40 **地域系学部カリキュラムにおける体系性担保の要素**  
○伊藤 奈賀子 (鹿児島大学)
- 13:40~14:00 **大学における学部横断型教育プログラムの効果と課題**  
—COC/COC+事業における地域人材育成に着目して—  
○出口 英樹 (鹿児島大学)
- 14:00~14:20 **大学における教育改善などのための組織体制の変遷に関する一考察**  
—国公立3大学副学長インタビュー調査結果報告—  
○西野 毅朗 (京都橘大学)
- 14:20~15:00 **総括討論**

Ⅱ-3部会 A714 教室

## 大学の組織・経営(2)

司会: 両角 亜希子 (東京大学)

- 13:00~13:20 私立大学等改革総合支援事業の採択状況と経常費補助額の変化  
○井芹 俊太郎 (法政大学)
- 13:20~13:40 国立大学の機能別分化に関する研究  
—競争的資金への申請状況と採択結果に着目して—  
○原田 健太郎 (島根大学)
- 13:40~14:00 大学基金における資産運用の新しい潮流  
—ESG投資の現状と今後の展望について—  
○川崎 成一 (東京大学大学院)
- 14:00~14:20 DEAを用いた私立大学における持続可能収支モデルの検討  
○前田 一之 (広島大学大学院)
- 14:20~14:40 IR組織における大学への貢献度の規定要因に関する調査研究(最終報告)  
○鈴木 弘道 (駒澤大学)
- 14:40~15:00 総括討論

---

Ⅱ-4部会 A715 教室

## 大学進学・進路選択

司会: 村澤 昌崇 (広島大学)

- 13:00~13:20 アクセシビリティ人材育成と大学教育の役割  
—教育プログラムの内容および成果と課題—  
○小川 勤 (山口大学)
- 13:20~13:40 生徒の社会関係が進学移動に及ぼす影響  
—青森県の高校生に着目して—  
○津多 成輔 (筑波大学)
- 13:40~14:00 大学生の文系理系、専攻分野の選択と学びへの姿勢に関する調査研究  
○鈴木 優香 (北九州市立大学)
- 14:00~14:20 仮面浪人生の進路再選択と大学への適応  
○福島 由依 (東京大学大学院)
- 14:20~14:40 大学図書館による高大接続教育への貢献の可能性  
○梅澤 貴典 (中央大学)
- 14:40~15:00 総括討論

## 大学と研究

司会：羽田 貴史（東北大学）

- 13:00~13:20 **オープンアクセスジャーナル**  
—論文採択基準の軟化と研究の質保証—  
○田中 正弘（筑波大学）
- 13:20~13:40 **研究成果の可視化はどの層の大学に影響を与えたのか？**  
—日本における研究 IR、リサーチアドミニストレーター(URA)、研究成果評価の誕生と推移—  
○山田 礼子（同志社大学） 木村 拓也（九州大学）
- 13:40~14:00 **戦後における旧制医学博士授与に関する研究**  
○廣内 大輔（岐阜大学）
- 14:00~14:20 **重点化政策 20 年後の博士課程大学院教育**  
—全国研究科長フォローアップ調査の報告—  
○山崎 博敏（兵庫大学）
- 14:20~15:00 **総括討論**

## アジアの高等教育

司会：南部 広孝（京都大学）

- 13:00~13:20 **若手女性教員の経験と熟達に関する探求**  
—日本と韓国の比較を通じて—  
Kim Yangson（広島大学） ○佐藤 万知（広島大学）
- 13:20~13:40 **大学における情報セキュリティ体制の日韓比較**  
—規程分析にみる「内部統制」を中心に—  
○朴 炫貞（成城大学）
- 13:40~14:00 **Regional cooperation in Northeast Asia**  
—Comparing policy ideas at Japanese universities—  
○Christopher D. Hammond（UCL Institute of Education）
- 14:00~14:20 **アジアにおける大学の理念再考と日本の位置づけ**  
○米澤 彰純（東北大学）
- 14:20~15:00 **総括討論**

Ⅲ-1 部会 A712 教室

## アメリカの高等教育

司会：福留 東土（東京大学）

- 10:00~10:20 **米国の高大接続における Dual Enrollment の有効性に関する研究**  
—カレッジ・レディネスの形成に着目して—  
○高野 雅暉（筑波大学大学院）
- 10:20~10:40 **米国高等教育の州調整委員会**  
—カリフォルニア中等後教育コミッションの改革議論を例に—  
○中世古貴彦（九州大学）
- 10:40~11:00 **アメリカにおける成人学生の学修支援**  
—ウィスコンシン大学を事例として—  
○五島 敦子（南山大学）
- 11:00~11:20 **「イリノイ大学システム」の財政危機とレベニュー債**  
○埴 武郎（専修大学）
- 11:20~12:00 **総括討論**
- 

Ⅲ-2 部会 A713 教室

## 大学評価と質保証

司会：沖 清豪（早稲田大学）

- 10:00~10:20 **資格取得コースの質保証と修学支援の課題**  
—教員免許取得を事例とした考察—  
○中村 章二（愛知教育大学）
- 10:20~10:40 **学士課程教育の質保証に対する意識・実態**  
—ボーダーフリー大学に着目して—  
○葛城 浩一（香川大学）
- 10:40~11:00 **自己点検・評価報告書から見た短期大学における卒業後評価の現状と課題**  
○山崎 慎一（桜美林大学）                      宮里 翔大（桜美林大学大学院）  
  堀 完（立教大学）                              黄 海玉（短期大学基準協会）
- 11:00~11:20 **内部質保証の実質化**  
—学修成果の体系化を通じて—  
○江原 昭博（関西学院大学）
- 11:20~11:40 **大学図書館評価と大学評価**  
○村上 孝弘（龍谷大学）
- 11:40~12:00 **総括討論**



## 大学の教育(3)

司会: 杉谷 祐美子 (青山学院大学)

- 10:00~10:20 **キャリア教育科目におけるシラバスの内容分析**  
—テキストマイニングによるアプローチ—  
○宮田 弘一 (広島大学)
- 10:20~10:40 **初年次キャリア教育科目における学生の成長過程**  
—授業履修者に対する3時点にわたる質問紙調査による検証—  
○小山 治 (京都産業大学)
- 10:40~11:00 **共通教育科目とアクティブ・ラーニング**  
—理論と実践から見えてくる課題の省察—  
○清水 亮 (神戸学院大学)
- 11:00~11:20 **STEM分野におけるアクティブ・ラーニングの国際比較**  
○吉永 契一郎 (金沢大学)
- 11:20~11:40 **「学生の成長」を見据えて考える自校教育科目の新たな役割**  
—シラバスに記載された到達目標の経年検証とあわせながら—  
○大川 一毅 (岩手大学) 大野 賢一 (鳥取大学)  
鳥田 敏行 (茨城大学)
- 11:40~12:00 **総括討論**

## 医療系専門職教育

司会: 吉本 圭一 (九州大学)

- 10:00~10:20 **医療技術者養成教育の日米比較**  
—放射線医療技術系専門2職種(医学物理士・診療放射線技師)の関係に着目して—  
○下瀬川 正幸 (群馬県立県民健康科学大学)
- 10:20~10:40 **看護師養成の「大学化」に関する考察**  
—高学歴化の背景を探る—  
○加野 芳正 (香川大学)
- 10:40~10:30 **薬学教育における学びと仕事の変容**  
—世代間比較を中心に—  
○日下田岳史 (大正大学) ○高山 知久 (東京薬科大学)  
○岩清水貴嗣 (東京薬科大学) 矢野 眞和 (東京薬科大学)  
横松 力 (東京薬科大学) 高橋 勇二 (東京薬科大学)
- 10:30~11:00 **総括討論**

## 地域と大学

司会：島 一則（東北大学）

- 10:00~10:20 **大卒者における地域移動の収益率に関する研究**  
—「全国就業実態パネル調査」(2016)の二次分析を中心に—  
○遠藤 健（早稲田大学大学院）
- 10:20~10:40 **進学からみた北海道における高校と大学のネットワーク構造分析**  
○岩崎 琢哉（大阪大学）
- 10:40~11:00 **大学進学における東京一極集中傾向の実態**  
—全国的な大学間ブランド競争等の観点からの時系列分析—  
○有澤 尚志（文部科学省）
- 11:00~11:20 **人口減少期の地方大学の可能性**  
—社会人学生を中心に—  
○濱名 篤（関西国際大学） 山田 礼子（同志社大学）  
塚原 修一（関西国際大学） 深澤 晶久（実践女子大学）  
合田 隆史（尚綱学院大学） 白川 優治（千葉大学）  
杉谷祐美子（青山学院大学） 小杉 礼子（労働政策研究・研修機構）  
松原 茂仁（関西国際大学） 小林 功英（日本私立大学協会）
- 11:20~12:00 **総括討論**

## 大学と学術

司会：阿曾沼 明裕（名古屋大学）

- 10:00~10:20 **オープンサイエンスを高等教育のマス化から理解する**  
○船守 美穂（国立情報学研究所）
- 10:20~10:40 **イグ・ノーベル賞の分析と考察**  
○北垣 郁雄
- 10:40~11:30 **変容する大学教授職に関する研究(1)**  
—専門分野別の特徴を中心として—  
○有本 章（兵庫大学） ○大膳 司（広島大学）  
○藤村 正司（広島大学） ○黄 福涛（広島大学）  
山本 眞一（桜美林大学） 山田 礼子（同志社大学）  
米澤 彰純（東北大学） 吉永契一郎（金沢大学）  
浦田 広朗（桜美林大学） 天野 智水（琉球大学）  
村澤 昌崇（広島大学） 葛城 浩一（香川大学）  
Kim Yangson（広島大学） 北垣 郁雄  
福留 東土（東京大学） 山野井敦徳（くらしき作陽大学）  
渡辺 達雄（金沢大学） 秦 由美子（関西外国語大学）
- 11:30~12:00 **総括討論**

## 多様な研究アプローチからみた高等教育研究

<趣旨>

2018年度科学研究費補助金の審査区分に従来はなかった「高等教育学」関連が登場した。また1997年に高等教育学会が設立されてから20年を超えた。こうした状況の中、「高等教育学」とは何か、定義できる研究者が何人いるだろうか。こうした状況を鑑みると、改めて「高等教育学」とは何か?を問う時期が来ているのではないかと考えた。ただし、いきなり「高等教育学」とは何かを問い始めるのは現状においては困難である。そこで、我々は金子元久会員が言う準専門領域としての高等教育研究というスタート地点から、アプローチを始めたいと思う。金子会員によれば、高等教育研究は、特定の研究対象への関心を中心に組織され、固有の論理・方法の体系を形成し、研究・教育機関において専門職を養成し、学会においてこの両者を組織するという古典専門領域(Academic Disciplines)ではない。むしろ、具体的な対象に対する関心を共有することを基軸にするとしても、必ずしも理論・方法を共有せず、あるいはそこだけに帰属する構成員から成り立っているのでもない、準専門領域であり、開かれた研究領域であることを宿命づけられているものとされる。こうした高等教育研究を行う高等教育学会発足から20年以上が経過した昨年、高等教育学会初代会長である天野郁夫会員は「高等教育・私史」(『高等教育研究』第20集)において、①高等教育研究を取り巻く環境の激変、②研究者に期待される専門性の内容の大きな変化と幅の拡大、③理論的な考察の対象であった改革から具体的な実践の問題としての改革への変化、こうした変化を踏まえたうえでの、高等教育研究の内容や主体の変化について、「学会は、「批判的自省」を踏まえた「さらなる発展と飛躍」をはかるためにも、改めて検証する必要がある」と述べている。そこで本課題研究では、多様な研究アプローチや多様な立場からの報告、そして高等教育研究に関わる多くの人々によるディスカッションを通じて、高等教育研究の今後のあり方について「批判的自省と学問的問い直し」(橋本鉦市会員・阿曾沼明裕会員による企画編集『リーディングス 日本の高等教育』刊行にあたってより)を目指して議論していきたい。具体的には、一定の研究アプローチが確立されている社会学、心理学、分野横断的に用いられる歴史・比較研究アプローチ、そして実践的観点からの課題解決型の研究等から見た高等教育研究の現状・課題を2年間にわたって検討する予定である。今年度は、濱中淳子会員、井上義和会員、加藤毅会員を報告者、小方直幸会員をコメンテーターとしてお招きし、司会は課題研究担当理事の一人、山田礼子が務める。

こうした多様な研究アプローチの交差に基づく議論を通じて、ディシプリンという観点からみた高等教育研究の位置づけ、他学問領域から見た高等教育研究の特異性・類似性、学問のライフサイクルや時代背景という観点からみた高等教育研究などといった点が明らかになっていくであろう。その先に、高等教育研究がもつ強みや課題、発展可能性が浮かび上がる中で、「高等教育学」を見据えつつ、高等教育研究の今後のあり方を多様に開かれた参加者とともに考えていきたいと思う。

<報告者>

1. 教育社会学の経験からみた高等教育研究のポジショニング

濱中 淳子 (東京大学)

2. 歴史的アプローチからみた高等教育研究

井上 義和 (帝京大学)

3. 学問のライフサイクルからみた高等教育研究

加藤 毅 (筑波大学)

<コメンテーター>

小方 直幸 (東京大学)

<司会者>

山田 礼子 (同志社大学)

## 高等教育と地域社会 — 相関的な政策と研究との間 —

### <趣旨>

高等教育は絶えず地域社会との関係でその姿を変えてきている。今日のわが国では、高等教育・第三段階教育システムにおける種別化と機能別分化、将来像や将来構想などの政策議論が続けられる中で、地域に関わる教育改革インセンティブとして、GP事業、COC、COC+、私立大学等総合改革支援事業などの各種事業が展開されている。これら文教政策は各機関のポジショニングやその地域マネジメント範囲などにおいてOECD(2009)が日本の第三段階教育レビューにおいて「舵取りのない多様性放置」として指摘された状況が依然として継続しているともみられるが、他方で、国家的課題としての地方創生や、科学技術、産業、国土整備などの領域においても、第三段階教育は積極的に政策の柱として位置づけられ、有力な船頭による過剰な関連事業が展開されているようにも見える。

本学会においても近年、こうした動向に呼応した研究活動や事例・研究報告が多く見られるようになったが、高等教育と地域社会の相関システムに関する研究は総じてまだ十分な展開をみていない。たとえ高等教育と地域社会との関係を総合的に分析した先行研究群であっても、地方創生などで問われるような政治・経済・社会の側からの高等教育への見方を研究枠組に十分に組み込んでいるとは言えない。他方、地域経済学などの近接学問領域では、地域経済社会開発やコミュニティデザインなどの研究が進んでいるが、これら近接学問領域と高等教育研究領域との研究交流も活発であるとは言えない。

そこで、今年度から2年間、本課題研究では、高等教育研究におけるこれまでの高等教育と地域社会との連携・交流をテーマとして、その研究動向をふり返り、今日的な研究課題と研究アプローチを探求する場を設定することとした。初年度の今回は、高等教育と地域社会に関する政策と現実、またそれらに関わる研究蓄積に焦点をあて、その到達点の整理と研究課題の提示を行う。第1報告では、本課題研究の趣旨説明を兼ねて、高等教育研究における先行研究群を整理し、その到達点の確認と課題提起をおこなう。第2報告では、科学技術政策、産業政策、国土政策など広く関連政策を含め、高等教育と地域交流・連携に関連する政策動向を俯瞰的に捉え、その中で期待される高等教育機関への役割と評価について論じていただく。第3報告では、こうした地域政策と高等教育との関係をテーマにした研究について、地域経済学や政策科学などの近接学問領域での到達点を概観し、課題提示をいただく。これらの報告をもとに、高等教育研究としての現在の研究課題がどこにあるのかを議論してみたい。

### <報告者>

1. 高等教育の研究における、地域と地域社会

稲永 由紀 (筑波大学)

2. 大学と地域の関係再考

松坂 浩史 (文化庁)

3. 近接学問領域における地域政策と高等教育

塚原 修一 (関西国際大学)

<指定討論者> 吉本 圭一 (九州大学)

<司会者> 加野 芳正 (香川大学)

A200教室

## 大学経営人材のプロフェッショナル化をどう進めるか —SD・教職協働の制度化を踏まえて—

<趣旨>

大学を巡る近年の経営環境の変化は著しい。その中で大学経営を担い、あるいは支える人材(大学経営人材)の能力開発については、実務上もまた研究課題としても注目を浴びるようになってきた。2000年代に入り、桜美林大学をはじめ幾つかの大学(院)では、このような人材を養成する教育訓練プログラムを開始し、また関連する学会等では大学経営人材のあり方についての研究も蓄積されつつある。

このような動きとともに、2016年および17年に大学設置基準等が改正され、大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための研修(SD)の機会を設けること、大学等は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教員と事務職員等との適切な役割分担の下で、これらの者の間の連携体制を確保し、これらの者の協働によりその職務が行われるよう留意するものとする等の規定が盛り込まれた。いわゆるSDの義務化である。

本シンポジウムでは、以上の状況を踏まえ、以前からの懸案事項である大学経営人材のプロフェッショナル化(専門性や業務遂行能力の向上)を進めるために何が必要か、そのために必要な研究・政策・実践課題は何か等について、シンポジストから発言を求め、大学経営のあり方も含め、積極的な議論を展開することとしたい。

<報告者>

1. 寺崎 昌男(立教学院)
2. 義本 博司(文部科学省)
3. 両角亜希子(東京大学)

<指定討論者> 荒井 克弘(大学入試センター)

<司会者> 山本 眞一(桜美林大学)

## 日本高等教育学会第21回大会プログラム

発行日：2018年4月18日

発行者：日本高等教育学会第21回大会実行委員会

委員長 山本 眞一 (桜美林大学)  
副委員長 浦田 広朗 (桜美林大学)  
鈴木 克夫 (桜美林大学)  
事務局長 鳥居 聖 (桜美林大学)  
委 員 石原 朗子 (星槎大学)  
井下千以子 (桜美林大学)  
小笠原惇也 (桜美林大学)  
小澤 諭貴 (桜美林大学)  
古賀 暁彦 (産業能率大学)  
篠田 道夫 (桜美林大学)  
志村 望 (桜美林大学)  
鈴木 弘道 (駒澤大学)  
舘 昭 (桜美林大学)  
中村 章二 (愛知教育大学)  
増田 優太 (桜美林大学)  
宮里 翔大 (桜美林大学大学院)  
柳生 修二 (総合研究大学院大学)  
山岸 直司 (桜美林大学)  
山崎 慎一 (桜美林大学)  
我妻 鉄也 (千葉大学) \*50音順

日本高等教育学会

第21回大会実行委員会

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

桜美林大学大学院 大学アドミニストレーション研究科内

E-mail: jaher21@obirin.ac.jp URL: <http://www.jaher21obirin.com>